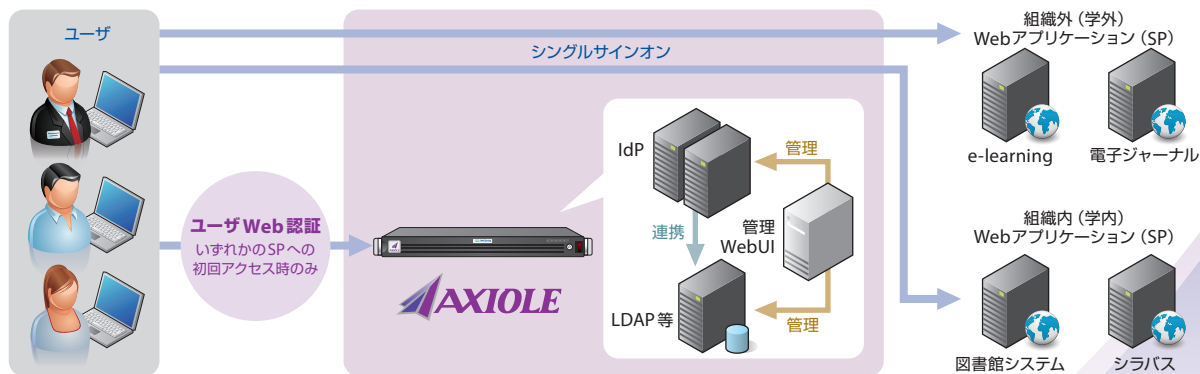




AXIOLEのIdPオプションの多要素認証機能(OTP他)を利用して

学術認証フェデレーションの セキュリティ強化を容易に実現



学術認証フェデレーションを 構築済みオプションで提供



LDAPベースの認証アプライアンスサーバAXIOLEの「AXIOLE IdP オプション機能」を導入することで、Shibboleth IdPを構築済みの機能として手軽に導入できます。全国の大学・高専等と国立情報学研究所が連携して運用する「学術認証フェデレーション(学認: GakuNin)」の相互認証連携システムであるShibboleth IdPをオールインワンのアプライアンス形態で導入でき、すぐにGakuNinに参加可能です。

GakuNinとは

学術認証フェデレーションとは、学術e-リソースを利用する大学、学術e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体です。各機関はフェデレーションが定めたポリシーに基づき、相互に認証連携を行ないます。認証連携により学内外のシステムへのシングルサインオンを実現、電子ジャーナルへのアクセスや他大学でのネットワーク利用を可能にします。

多要素認証機能(OTP他)をIdP利用時に 容易に実現可能

Shibboleth IdPでは、IdPの導入だけでなく、多要素認証機能が実装可能ですが、高度な設定にはXMLの編集やプラグインの導入設定等困難が伴います。また、実運用も同様に煩わしいものがあります。AXIOLE IdPオプションでは、以下のような多要素認証機能(MFA)の高度な設定をWebインタフェースにより容易に実現します。

- 以下の情報を元にMFAの有効無効を変更可能。
 - 学生/教員/職員等の属性
 - アクセスIPアドレス(学内から/学外から)
 - アプリケーション(SP)
- MFAの利用にあたっては、以下の製品・機能を利用可能。
 - クライアント証明書認証
 - OTPトークン(メール通知/Google・MS・HDEなどのアプリ)
 - その他

SAMLなどShibboleth IdPに対応したフェデレーションの利用においては、プライバシーやセキュリティ強化が不可欠ですが、本オプションにて標準提供される、MFAをご利用頂くことで速やかに実現可能です。また、AXIOLE上のユーザ向け画面(パスワード変更等)のアクセスにおいてもMFAの利用を設定可能です。AXIOLE IdPオプションで、GakuNin参加と共にセキュリティ強化も、短期間で一挙に図ることができます。



Price

AXIOLE IdP オプション機能
(標準販売ライセンス価格)

[Shibboleth IdP 連携オプション]

1,000,000円(税別) ワンタイムライセンス価格^{※2}

※1:別途AXIOLE本体が必要です ※2:AXIOLEユーザ数のアカウント数に依存しない一律料金(一括払い)
※3:本オプションは、AXIOLEファームウェアv1.10以降で対応しています。

本オプションはあとからでも
ライセンスを追加することで
ご利用いただけます。